

桜井・初瀬

古代からの観音霊場でボタンの名所でもある長谷寺を中心とした、門前町が特徴ある景観を形成している地区

整備のコンセプト：

初瀬周辺の眺めと彩りの魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- ・初瀬ダム湖周辺は彩りに乏しく、視点場の植栽管理も不十分である。
- ・門前町の道路空間は来訪者を迎える彩りに乏しい。
- ・初瀬川のコンクリート護岸や雑草が生い茂る様子は、まちなみと調和した景観とは言いがたい。

課題解決
への
主な対応

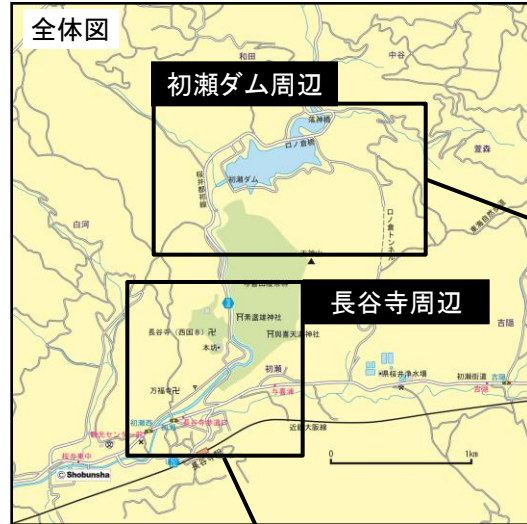
- ・ダム湖周辺における四季折々の植栽による、彩りある植栽景観の形成
- ・支障木、雑草、竹林化への対応による、眺望景観の魅力向上
- ・門前町でのおもてなし景観の形成

【今後の連携方策】 市、長谷寺および地域住民等との連携による、おもてなしの景観づくりに向けた取り組み。

◆エリアの特徴的な景観



春の長谷寺



□初瀬ダム周辺

短期 秋の彩りの充実を行い、彩りある景観づくりを図る



現況写真

□長谷寺周辺

長期 支障木の伐採を行い、眺望景観の向上を図ることが望ましい

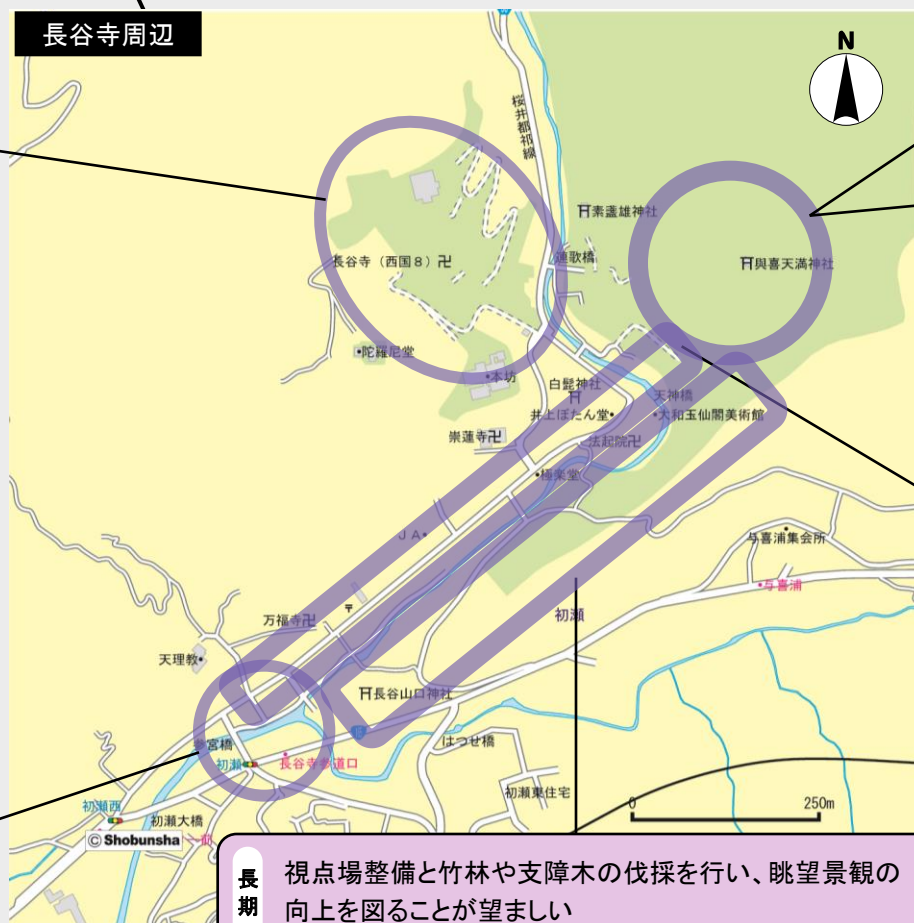


現況写真

現況写真



現況写真



管理 梅木の適正な管理等により、視対象の魅力向上を図ることが望ましい

長期 視点場整備を行い、眺望景観の魅力向上を図ることが望ましい



現況写真

長期 四季折々の花々を飾るなど、おもてなしの景観づくりを図ることが望ましい

管理 雑草を除去し、景観の魅力向上を図る

長期 視点場整備と竹林や支障木の伐採を行い、眺望景観の向上を図ることが望ましい



現況写真